第４回
産業用フィットテストインストラクター
養成講座（Advanceコース）報告

2024.02.09　10:00～17:00

フィットテスト研究会産業部会

機器トラブル・フィットテスト不合格の対応を学ぶ

第4回産業用フィットテストインストラクター養成講座

Advanced コース 第2弾

マスクの不具合探しに挑戦！

日時：2024年 2月9日 (金)10時～17時

「フィットテスト不合格、正しく対応できますか？」

屋内金属アーク溶接作業時フィットテストに引き続き、化学物質ばく露防止対策として呼吸用保護具を使用する際にもフィットテストの実施が求められます。フィットテスト不合格者への対応や機器トラブル、呼吸用保護具の不具合を見極めるのに困った経験はありませんか？実技を中心とした、不合格者への対応や機器トラブル、マスクの保守管理方法、呼吸器保護プログラム等を学ぶセミナーを開催いたします。フィットテスト研究会産業部会は、産業現場におけるばく露防止のために新しいフィットテストプログラムの開発など、呼吸用保護具のフィットテストの普及や啓発を進めています。呼吸用保護具の現場使用にかかわる方、ご興味のある方は、ぜひ本セミナーへご参加ください。

＊保護具着用管理責任者、の指定講習ではありません。

会　場：**帝京大学板橋キャンパス　大学棟本館1階105教室**

対　象：産業保健スタッフ、安全衛生担当者の方等、現在フィットテストを実施していて、お困りごと等をお持ちの方、等　30名

＊フィットテストの基本事項を修了した方が対象です。未修了の方は申し込み前にご相談ください。

受講費：10,000円（テキスト代お弁当代を含む）

＊既にフィットテストインストラクター講座を修了されている方の受講費は5,000円（お弁当代含む）です。

会場の板橋キャンパスは、JR埼京線「十条駅」下車、徒歩約10分です。
（〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1）

お申込は、次のGoogleフォームから、2023年12月11日～2024年1月22日の間にお願いします。

第４回産業用フィットテストインストラクター養成講座（Advanceコース）受講申込 - Google フォーム

フィットテスト研究会産業部会HP　https://www.navida.ne.jp/snavi/101081_1.html

フィットテスト研究会産業部会事務局　eiei235235@gmail.com

KANOMAX The Ultimate Measurements
クリーン、ヘルス、セーフティで社会に 興研株式会社
シゲマツ
SIBATA
3M Science. Applied to Life.
トランステック

第4回FTI養成講座（Advanceコース）　概要Program

時　間	実施事項
8:30	集合・セッティング
9:30	受付開始
10：00～10：20	開会の挨拶・オリエンテーション
	自己紹介
10：20～10：40	講義
10：40～11：30	定量FT（短縮）と装着改善指導実技演習（使い捨て式防じんマスク）
11：30～12：00	FT結果、マスクの交換結果、受けた指導などの結果共有・ディスカッション
12：05～13：05	昼食
13：05～13：35	取り換え式マスクの保守管理の実技演習
13：35～14：05	FT機器の準備と保守管理の実技演習
14：05～15：45	加工済みマスクの不具合発見・修正演習（各班２個ずつ）
	休憩（14：25～14：35）
	Google Form（絵でもOK)を見ながら答え合わせ
15：45～16：10	PAPRに関するFTの方法の実技演習
16：10～16：15	休憩
16：25～16：45	ディスカッション・質疑応答
16：45～16：45	アンケートの説明
16：50～16：55	閉会挨拶
16：55～17：00	写真撮影・参加者交流

アドバンスコースの目標

【一般目標（GIO）】

フィットテストインストラクター（FTI）の役割を学ぶとともに、フィットテスト（FT）に関する知識と技術に加え、FT不合格者に対する装着改善指導方法を修得する。また、ろ過式タイトフィット型呼吸用保護具の選択ポイント、保守管理方法を理解するとともに、不具合を発見する知識と、是正する技術を持つ。

【行動目標（SOB）】

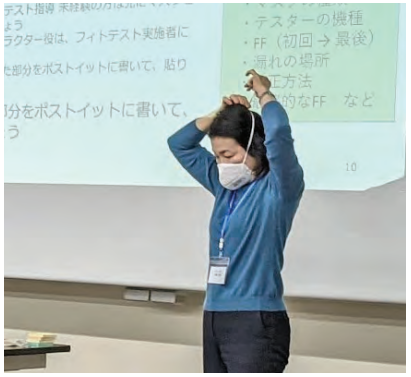
- フィットテスト不合格者に対し、装着方法の改善指導ができる
- フィットテストを用いて、ろ過式タイトフィット型呼吸用保護具の正しい選択を指導できる
- ろ過式タイトフィット型呼吸用保護具の保守管理ができる
- 漏れを発生させる呼吸用保護具の不具合を想定することができる
- 保護具着用管理責任者および化学物質管理責任者とFTIの違いを説明できる

開会の挨拶・オリエンテーション・講義

開会挨拶・オリエンテーション等
産業部会　副代表
川島　正敏　先生

講義
「新しい化学物質管理
マスクの選択と使用の新通達
呼吸保護プログラム　等
（フィットテストを軸に）」
産業部会　代表
津田　洋子　先生

使い捨て式防じんマスクの着脱



定量FT（短縮）と装着改善指導実技演習（使い捨て式防じんマスク）

定量フィットテスト（短縮）と装着改善指導実技演習

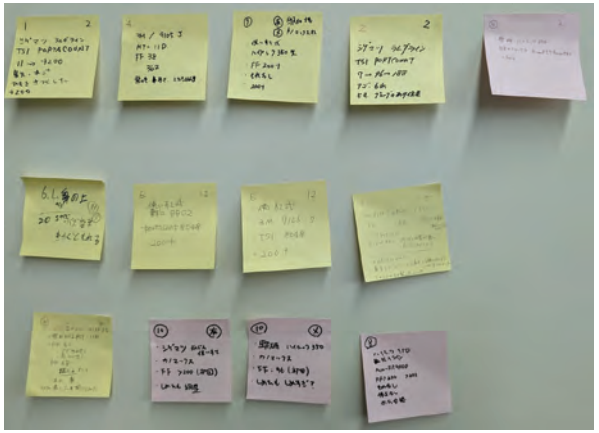
1. 装着方法デモンストレーション
2. グループでフィットテスト
   - ① 自分の使用しているマスクを使用してください
   - ② フィットテスト指導 未経験の方は先にマスクをつけましょう
   - ③ インストラクター役は、フィトテスト実施者になります
   - ④ 修正等した部分をポストイットに書いて、貼りましょう
3. 修正した部分をポストイットに書いて、貼りましょう

（マスクにつき1枚）

記入者番号　　FTI番号

- マスクの種類
- テスターの機種
- FF（初回 → 最後）
- 漏れの場所
- 修正方法
- 最終的なFF　など

FT結果、マスクの交換結果
受けた指導などの結果共有・ディスカッション



フィットテスト時に調整した内容

初回装着時にFF200以上の方が複数名あり、それらについては記載していません。
以下は、装着改善の内容です。

【9105J（3M）】
① （Sサイズ）顎・鼻をそわせる（FF32→68）、頭を左右に振る（FF814）。鼻部からのもれ。（頭を左右に振った時だけFFが800を超えたが他はだめだったため、他のマスクが良いのではないかということになった）
② （装着時のフィットチェックでは完璧と思ったが、、、）髪の毛、鼻あて、上のしめひもの位置を修正（FF38→362）
③ Mサイズを装着し漏れあり、Sサイズに変更したが、動作をすると漏れる
④ （Mサイズ）大きい＆プローブの開け位置が悪く顎に張り付く（FF48）→Sサイズに変更。鼻あてが浮いていたので頬の方までしっかし当て直す。下のしめひもを髪の毛の下にした（FF52→392（トレーニングモード））

【DD02-S2-2K（重松製作所）】
① 鼻先、顎、しめひもを締めた（FF11→200以上）
② 顎部の漏れ、紐の位置を調整（バッテン方式）、サンプリングチューブ取付用コネクタの取付位置を変更（真ん中→横）（FF7→96→188）
③ しめひも調整（初回FF200以上）

【ハイラック350（興研）】
① （一回で合格しようとして）しめひもを締めすぎかもしれない（FF96）

ディスカッション

【女性が多く、どのマスクも合わないケース】
① どれもあわなくて、一種類だけ合ったケースがある
② 顔の細い方、会いにくい。
③ 高齢の方で、フィットテスト中にマスクが下がってきてしまうケースがあった。取替え式マスクに変更したケースがある
④ 溶接作業のかたで、フィットせず、ルーズフィットに変えたケースがある

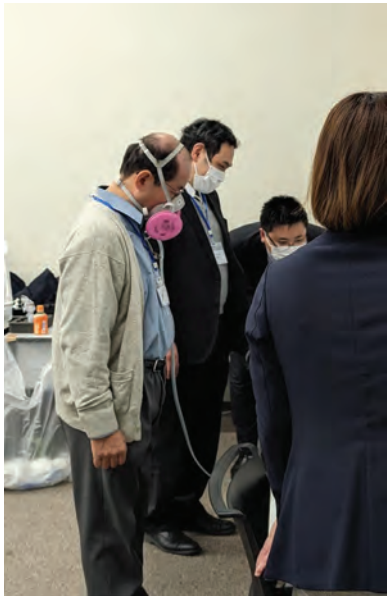
【メーカの方がいままで出会った、マスクの合わない方の特徴は？】
① 産業用マスクは男性用に開発が進んできた経緯もあり、女性の使用者には合いにくい場合も多い。
② 高齢の方（肌の張りの低下した方）は合いにくい
③ 高齢でシワの深い方は合いにくい→取替え式の方がシリコン素材等で顔に接触する面積が大きいので、どうしてもの場合には取替え式に変更すると会う場合もある
④ 顎の細い方は合いにくい
⑤ 頬のこけた方は合いにくい

取り換え式マスクの保守管理の実技演習

FT機器の準備と保守管理の実技演習

取り換え式マスク（実技演習）

定量フィットテスト（短縮） と 装着改善指導実技演習



加工済みマスクの不具合発見・修正演習

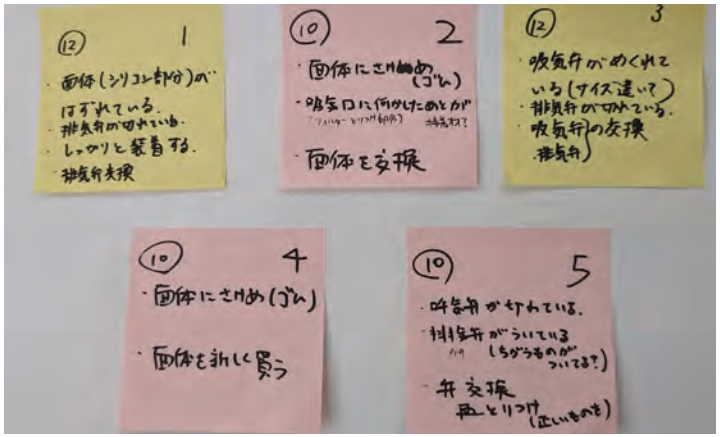
加工済マスクの風具合発見と対応

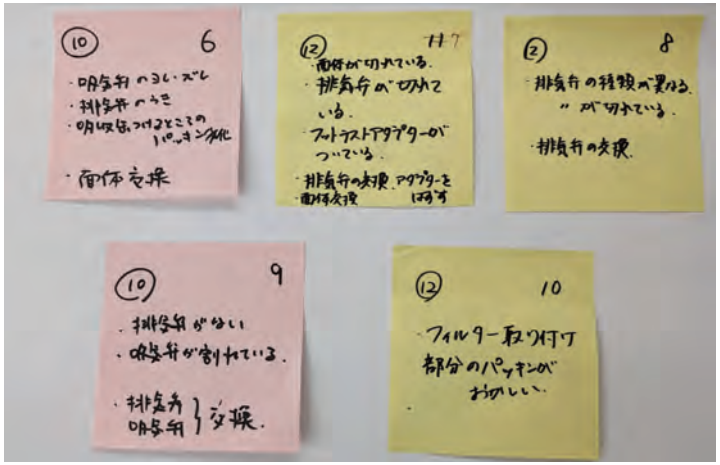
1. 用意しているマスク：10個
2. 2人1組で、全てのマスクについて不具合等を判断します
3. 結果をポストイットに書きます
4. 貼りましょう
5. 皆で共有しましょう

（マスクにつき1枚）

確認者番号（2名）	マスクシール番号

・不具合等の内容
・修正等の内容



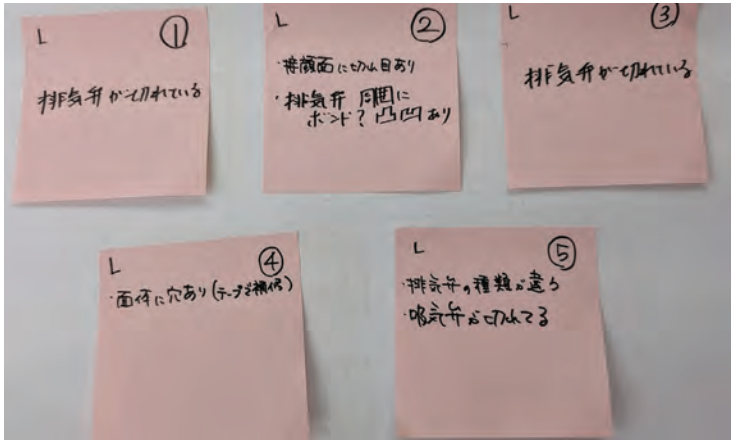


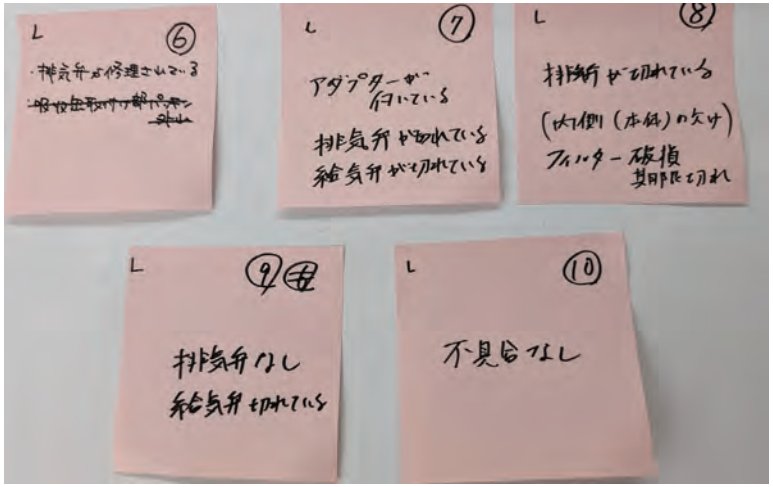
加工済みマスクの不具合発見・修正演習

（マスクにつき1枚）

確認者 番号（2名）	マスク シール番号

- 不具合等の内容
- 修正等の内容





PAPRに関するFTの方法の実技演習

ディスカッション・質疑応答

ディスカッション・質疑応答

髭対策：
髭のある被験者に対して、どのように対応したらよいのか/対応しているのか、について

対応事例
- 髭剃りを持ってゆく方（２名）
- 髭のある状態でFTし不合格、髭を剃った状態で合格すると明確に理解される
- 剃らない理由を聞く

本来は
- 「シール部分に髭等（無精髭、顎髭、口髭、長いもみあげ等）がある人はフィットテストをしてはならない」とJIS T 8150付属書JDに明記されている
- JIS T 8150付属書Dには、顔の特徴（傷、シワ、宝飾類、剃っていない髭）がフィットに影響する時→ルーズフィット
- 髭を剃っていない＝勤務交代前8時間以内に髭を剃っていない（1日未満の髭の伸びでも漏れ増大するという研究あり）
- アメリカでは髭のある人はフィットテスト禁止（OSHA 1910.134 Appendix A）（NIOHSに髭の顔の絵あり）

様々な立場から
- 髭のある状態でフィットテストを実施し合格した場合には事業者責任で判断
- FTで合わない、髭も剃れない理由がある人に対し、産業医はどうするのか→安全配慮義務の観点から企業が判断する
- 「本人が良いかどうか」ではなく、「会社として責任が取れるか取れないか」を考えてもらう。
- 健康診断拒否の対応と似ている。事業者の義務として行わなければならない。車検を通っていない車を行動で走らせられない（社用車として使用することはできない）[22]

他にも多くの質問や課題、そして様々な対策などが発言され、有意義なディスカッションとなりました。

- メリヤスの使用
- 鼻が高い（鷲鼻）の方
- フィットテスト不合格になった場合の業務継続
- フィットテストを受けてくれない
- やる気のない人
- フィットテスト実施者の法的要件
- その他・・・・

修了証授与・記念撮影

津田代表より
修了証が授与されました。

皆さん晴れ晴れとしたすてきな笑顔です（＾-＾）

12名の受講者がAdvanceコースを修了いたしました。

ご参加の皆さま、ありがとうございました。